

育成を目指す資質・能力の前期・中期・後期の具体の姿

	知識・技能	思考力	表現力	主体性
後期	様々な場面で活用することができる知識・技能を身に付けている。	課題解決に向けて、収集した情報を抽象化したり、構造化したりして、解決策(新たな価値)を考えることができる。	発展させた自分の考えや集団の考えを、状況に応じて、適切に表現したり、伝え合ったりすることができる。	課題解決に向けて、自分で目標を見だし、協働して取り組み、様々な場面で実践することができる。
中期	学習過程において活用することができる知識・技能を身に付けている。	課題解決に向けて、情報を多面的・多角的に見たり、根拠を基に理由付けしたりして、解決策を考えることができる。	自分の考えや集団の考えを、目的や相手によって、効果的に表現したり、伝え合ったりすることができる。	課題解決に向けて、自分の考えを明確にもち、協働して取り組むことができる。
前期	学習に必要な基礎的、基本的な知識・技能を身に付けている。	課題解決に向けて、事象を比較したり、分類したり、関連付けしたりして、解決策を考えることができる。	自分の考えを、分かりやすく表現したり、伝え合ったりすることができる。	課題解決に向けて、興味をもって、自分から取り組むことができる。